

乙女文楽

若田光華の世界

道頓堀に花ひらく
女たちの
人形浄瑠璃
華やかなる舞台

平成24年

11月29日(木)

【開演】18:00 / 開場 17:30

【会場】道頓堀ZAZA HOUSE

【料金】前売 2,500円

当日 3,000円(全席自由)

演目

「義経千本桜」静御前初音の旅

「艶容女舞衣」酒屋の段

ワークショップ：乙女文楽の人形の遣い方、
女流義太夫のお話など

木津川計のお楽しみトーク「人形浄瑠璃について」



静御前
撮影・西村宣世

乙女文楽と光華座

一体の人形を女性ひとりで遣って演じます。大正時代末期に大阪で誕生し、庶民の娯楽のひとつとして親しまれていましたが、戦争でやむなく解散、平成の時代に復活しました。光華座は、多彩なジャンルの邦楽や芸能とコラボレートして国内各地で活動するほか、フランスやオーストリア、オランダなど海外での公演も多数行っています。

出演

人形



吉田 光華 Yoshida Mitsuka

長年培った日本舞踊の素地を生かし、伝統の上に独自の感性を重ねて、義太夫はもとより、長唄・新内・常磐津・小唄などに合わせて、数々の演目を振り付け創作。乙女文楽の新境地を開拓し、古典芸能に馴染みのない方にも楽しんでいただくことを信条に、幅広く活動。

大夫



竹本 越孝 Takemoto Koshikou

昭和47年竹本越道に入門。昭和49年上野本牧亭で初舞台。平成元年より社団法人義太夫協会理事に就任。平成12年重要無形文化財総合指定に認定される。若手女流義太夫演奏会「ぎだゆう座」、若手女流義太夫勉強会「じよぎ」などで義太夫普及に余念がない。

三味線



鶴澤 津賀榮 Tsurusawa Tsugae

平成4年竹本駒之助に入門。平成6年国立演芸場で初舞台。平成12年度「芸団協助成新人奨励賞」受賞。女流義太夫定期演奏会(国立演芸場)のほか、「じよぎ」「ぎだゆう座」(上野広小路亭)などの若手女流義太夫勉強会に出演。義太夫節の継承普及に努めている。

お話



木津川 計 Kizugawa kei

雑誌「上方芸能」を創刊、現在発行人。大学教授、NHKのラジオエッセーをレギュラーで担当、本の出版など関西の芸能文化の世界で幅広く活躍。2007年に「一人語り劇場」を旗揚げし各地で口演。

〈司会〉辰巳 万紀子

■主催：光華座

前売り取り扱い・お問い合わせ 光華座事務所

TEL.06-6697-4925

FAX.06-6697-4926

道頓堀ZAZA HOUSE

中座くいだおれビル B1

大阪市中央区道頓堀1-7-21 TEL06-6212-3005

地下鉄御堂筋線 なんば駅・近鉄奈良線 大阪難波駅

14番出口より北東へ徒歩5分

